



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月22日

上場会社名 株式会社 オービック
 コード番号 4684 URL <http://www.obic.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 2020年8月6日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 橘 昇一
 (氏名) 阿南 友則
 TEL 03-3245-6510

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	20,106	3.6	11,653	12.0	13,089	13.5	9,797	6.0
2020年3月期第1四半期	19,414	9.9	10,402	17.2	11,533	14.1	10,421	26.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 10,732百万円 (2.5%) 2020年3月期第1四半期 10,470百万円 (28.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	110.14	
2020年3月期第1四半期	117.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	265,592	240,108	90.4	2,699.35
2020年3月期	264,596	238,392	90.1	2,680.06

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 240,108百万円 2020年3月期 238,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		70.00		90.00	160.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		80.00		80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	84,000	4.4	45,300	4.8	49,300	7.1	35,200	0.3	395.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	99,600,000 株	2020年3月期	99,600,000 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	10,649,548 株	2020年3月期	10,649,548 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	88,950,452 株	2020年3月期1Q	88,950,512 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2020年4月23日発表の通期連結業績を修正していません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は[添付資料]3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. 補足資料	10
受注及び売上の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、急速な悪化が続いており、極めて厳しい状況にあります。また、6月頃から感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げておりますが、一方で主要都市を中心に感染状況が拡大傾向にあるため、先行きについても当面の間は不透明な状況が続くと見込まれます。

当情報サービス業界においては、働き方改革への取り組みなどを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、さらなる顧客目線でのシステム提案が求められております。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に幅広く求められました。主な傾向として、大企業向けのシステム構築が引き続き順調に推移しております。業種・業務別のソリューションに関しても、製造業向け、流通業向け、サービス業向け、金融業向け等、業種を問わずシステム構築の引き合いが強まりました。システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズにも、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、クラウド関連施設の設備増強やセキュリティ・サービス強化、従業員のテレワーク環境整備など、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高201億6百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益116億53百万円(同12.0%増)、経常利益は130億89百万円(同13.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は97億97百万円(同6.0%減)となりました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、先行きは依然として不透明な状況が続くものと見込まれますが、今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次の通りであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業界・業種の企業に求められました。主な傾向として、当社クラウドソリューションの採用増加に伴い、サーバー機器等のハードウェア仕入販売の売上が減少したものの、付加価値の高いシステム構築の売上については、大手・中堅企業を中心に堅調に推移しております。

この結果、外部顧客に対する売上高は94億69百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は52億90百万円(同3.8%増)となりました。

(B) システムサポート事業

主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェア及びハードウェアの「運用支援・保守サービス」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は86億36百万円(前年同期比17.0%増)、営業利益は60億65百万円(同23.1%増)となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、中小企業を中心に印刷サプライやオフィス家具等の販売がやや減少しました。

この結果、外部顧客に対する売上高は20億円(前年同期比9.0%減)、営業利益は2億97百万円(同21.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計残高については、前連結会計年度末比で9億96百万円増加し2,655億92百万円となりました。これは主に、現金及び預金が12億40百万円増加したことによるものであります。

負債合計残高は、7億19百万円減少し254億84百万円となりました。これは主に、未払法人税等が36億49百万円減少したことによるものであります。

純資産合計残高は、17億16百万円増加し2,401億8百万円となりました。これは主に、利益剰余金が7億80百万円増加したことによるものであります。結果、自己資本比率は90.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は1,308億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ、12億40百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、77億52百万円(前年同期比53.2%増)であります。これは主に税金等調整前四半期純利益が133億76百万円計上されたほか、利息及び配当金の受取額が10億13百万円計上された一方で、法人税等の支払が70億48百万円発生したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は、14億93百万円(前年同期は13億98百万円の減少)であります。これは主に有形固定資産の取得・売却により3億84百万円増加したこと及び投資有価証券の取得・売却により9億9百万円増加したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、80億5百万円(前年同期は68億93百万円の減少)であります。これは配当金の支払によるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、業績のオペレーションを行っております。当第1四半期連結会計期間末現在、業績は概ね順調に推移しております。よって、2020年4月23日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	129,612	130,852
受取手形及び売掛金	10,110	11,049
商品及び製品	102	106
仕掛品	198	147
原材料及び貯蔵品	0	2
その他	1,138	1,040
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	141,160	143,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	27,628	27,328
土地	28,193	27,636
その他(純額)	2,026	2,144
有形固定資産合計	57,847	57,110
無形固定資産		
その他	122	123
無形固定資産合計	122	123
投資その他の資産		
投資有価証券	60,501	59,984
その他	4,968	5,182
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	65,465	65,162
固定資産合計	123,435	122,395
資産合計	264,596	265,592

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,708	3,123
未払法人税等	7,393	3,744
賞与引当金	2,372	3,350
その他	4,970	7,317
流動負債合計	18,444	17,534
固定負債		
退職給付に係る負債	5,942	5,931
資産除去債務	156	156
その他	1,659	1,860
固定負債合計	7,758	7,949
負債合計	26,203	25,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,530	19,530
利益剰余金	218,159	218,940
自己株式	△22,140	△22,140
株主資本合計	234,728	235,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,177	5,149
土地再評価差額金	△1,705	△694
退職給付に係る調整累計額	192	144
その他の包括利益累計額合計	3,663	4,599
純資産合計	238,392	240,108
負債純資産合計	264,596	265,592

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	19,414	20,106
売上原価	5,739	5,322
売上総利益	13,675	14,784
販売費及び一般管理費	3,273	3,130
営業利益	10,402	11,653
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	283	306
投資有価証券売却益	—	573
持分法による投資利益	848	636
受取賃貸料	0	199
その他	32	42
営業外収益合計	1,166	1,758
営業外費用		
賃貸費用	35	322
その他	—	0
営業外費用合計	35	322
経常利益	11,533	13,089
特別利益		
償却債権取立益	2,498	—
固定資産売却益	1	288
特別利益合計	2,499	288
特別損失		
償却債権取立費用	500	—
固定資産売却損	—	1
その他	4	—
特別損失合計	504	1
税金等調整前四半期純利益	13,528	13,376
法人税、住民税及び事業税	3,285	3,639
法人税等調整額	△178	△60
法人税等合計	3,107	3,579
四半期純利益	10,421	9,797
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,421	9,797

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	10,421	9,797
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43	△197
土地再評価差額金	—	1,010
退職給付に係る調整額	16	△50
持分法適用会社に対する持分相当額	75	172
その他の包括利益合計	49	935
四半期包括利益	10,470	10,732
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,470	10,732
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,528	13,376
減価償却費	142	512
持分法による投資損益(△は益)	△848	△636
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△573
償却債権取立益	△2,498	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	946	978
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△100	△116
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△26	△84
受取利息及び受取配当金	△284	△307
固定資産売却損益(△は益)	△1	△287
売上債権の増減額(△は増加)	△360	△938
たな卸資産の増減額(△は増加)	82	44
仕入債務の増減額(△は減少)	△387	△585
その他	718	2,404
小計	10,911	13,787
利息及び配当金の受取額	972	1,013
法人税等の支払額	△6,822	△7,048
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,061	7,752
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,954	△460
有形固定資産の売却による収入	3	845
無形固定資産の取得による支出	△6	△10
投資有価証券の取得による支出	△0	△2,690
投資有価証券の売却による収入	200	3,600
償却債権の回収による収入	2,498	—
その他	△139	209
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,398	1,493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△6,893	△8,005
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,893	△8,005
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,230	1,240
現金及び現金同等物の期首残高	119,972	129,612
現金及び現金同等物の四半期末残高	116,741	130,852

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. 補足資料

受注及び売上の状況

①受注実績

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	9,698	47.8	9,216	43.8	△481
システムサポート事業	8,291	40.9	9,768	46.4	1,477
オフィスオートメーション事業	2,303	11.3	2,065	9.8	△237
合 計	20,293	100.0	21,050	100.0	757

②売上実績

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額
システムインテグレーション事業	9,832	50.7	9,469	47.1	△362
システムサポート事業	7,384	38.0	8,636	43.0	1,252
オフィスオートメーション事業	2,197	11.3	2,000	9.9	△197
合 計	19,414	100.0	20,106	100.0	691

以上